

一般社団法人日本体力医学会評議員申請要項

評議員に申請をされたい方は申請書類を評議員会開催2ヶ月前までにご提出下さい。

I. 申請資格について

下記、**評議員選考内規**をご参照下さい。

◎日本体力医学会評議員選考委員会評議員選考内規

昭和62年10月7日改定

平成6年11月18日改定

平成24年7月20日改定

平成28年8月26日改定

1. 評議員候補者は、7年以上継続した正会員歴を有していなければならない。
2. 評議員候補者は、7年以上の研究歴を有し、体力医学、運動生理学、スポーツ医学などに関する十分な研究業績の著書、原著論文などの業績発表を有していなければならない。
3. 評議員候補者は、評議員3名の推薦をうけて、入会年月日を明記した履歴書および業績目録を添えて、評議員会開催2カ月前迄に評議員選考委員会に申請しなければならない。
4. 日本体力医学会の学会運営に必要と認められるものは、必ずしも上記条件を満たしていなくとも評議員選考委員会の議を経て、その推薦により評議員候補者となることができる。
5. 評議員選考委員会は、推薦された評議員候補者を審議し、評議員の資格を有すると認められたものを、理事会へ報告し、評議員会に推薦する。

付 則

1. 体力医学に関係する領域の学会で評議員を務めるかこの領域で博士の学位を取得しており、内規2を満たす研究歴と研究業績を認め、本学会の正会員歴が4年以上継続している場合には、評議員に推薦することができる。
2. 日本体力医学会より授与された日本体力医学会健康科学アドバイザーの称号を有しており、内規2を満たす研究歴と研究業績を認め、本学会の正会員歴が4年以上継続している場合には、評議員に推薦することができる。
3. 研究業績については、原則として、体力医学に関係する原著論文（審査を受けた学術論文の筆頭著者）が5編以上あることを基準として、評議員選考委員会で審議する。
4. 申請書類の送付先は 学会支援機構内 一般社団法人日本体力医学会評議員選考委員会とする。

II. 申請手続きについて

下記書類をHPの評議員申請(<http://www.jspfsm.umin.ne.jp/councilor/index.htm>)からダウンロードの上、ご記入・ご提出下さい。

- 1) 評議員推薦書（評議員3名の署名・捺印が必要です）
- 2) 履歴書
- 3) 研究業績

III. 承認までの流れについて

- ① 評議員会開催2ヶ月前（7月中旬頃）までに申請書類を提出いただく。
- ② 提出期間満了後に評議員選考委員会で確認・選考を行う。
- ③ 9月理事会および評議員会総会において報告・承認を行う。

■申請書提出先

〒112-0012 東京都文京区大塚5-3-13 ユニゾ小石川アーバンビル4階

学会支援機構内

一般社団法人日本体力医学会評議員選考委員会

Tel : 03-5981-6015 (学会専用) Fax : 03-5981-6012 (学会支援機構)

E-mail : jspfsm@asas-mail.jp

評議員選考委員長 大野 誠

一般社団法人日本体力医学会定例理事会（2017年11月）議事録

日 時：2017年11月17日（金）午後5時30分～7時30分

場 所：八重洲倶楽部 第2・3会議室

出席者：鈴木政登理事長、

西平賀昭、永富良一両副理事長、

碓井外幸常務理事、宇高 潤、勝村俊仁、

栗原 敏、下光輝一、須田和裕、須永美歌子、

武政 徹、竹森 重、田中喜代次、宮地元彦、

和気秀文各理事、井上 茂、小林康孝各監事、

浅井英典第72回副大会長

欠席者：大野 誠、小野寺昇、川原 貴、後藤勝正、

坂本静男、田畑 泉、成田和穂、浜岡隆文、

前田清司各理事、清田 寛、定本朋子各監事、

戎 利光第73回大会長

【議事】

1. 前回議事録の承認（鈴木理事長）

前回の理事会議事録を理事会開催中に内容確認を行い、訂正等がある場合には申し出て頂くこととし、理事会終了後に承認することにした。

2. 各種委員会委員長、委員について（鈴木理事長）

資料に基づき、以下の通り各種委員会委員長および副委員長を委嘱することが提案され、承認された。また、理事長から各委員長に委員の推薦依頼があり、執行部で確認済みの委員会委員一覧が提出され、承認された。

- | | |
|--------------------|-----------|
| ・総務委員会委員長 | 武政 徹 理事 |
| 庶務委員会委員長 | 木田哲夫 評議員 |
| 学会在り方検討委員会 | 下田政博 評議員 |
| ・編集委員会委員長 | 田中喜代次 理事 |
| 編集委員会副委員長 | 後藤勝正 理事 |
| 編集委員会副委員長 | 和気秀文 理事 |
| 学術刊行物小委員会委員長 | 田中喜代次 理事 |
| ・学術委員会委員長 | 碓井外幸 常務理事 |
| 学術委員会副委員長 | 須田和裕 理事 |
| スポーツ医学研修会実行委員会委員長 | 中里浩一 評議員 |
| スポーツ医学研修会実行委員会副委員長 | 岡本孝信 評議員 |
| 称号委員会委員長 | 碓井外幸 常務理事 |
| プロジェクト委員会委員長 | 須田和裕 理事 |
| 学会賞選考委員会委員長 | 前田清司 理事 |
| ガイドライン検討委員会委員長 | 勝村俊仁 理事 |
| ・財務委員会委員長 | 宮川俊平 理事 |
| ・評議員選考委員会委員長 | 大野 誠 理事 |
| ・渉外委員会委員長 | 永富良一 副理事長 |
| FAOPS2019運営委員会委員長 | 和気秀文 理事 |
| ・倫理委員会委員長 | 成田和穂 理事 |
| ・男女共同参画推進委員会委員長 | 須田和裕 理事 |
| ・利益相反委員会委員長 | 宮地元彦 理事 |
| ・全国地方会実行委員会委員長 | 竹森 重 理事 |
| 全国地方会実行委員会副委員長 | 田村暢熙 評議員 |

3. 日本体力医学会健康科学アドバイザー®新規申請者

（追加）について（碓井称号委員長）

日本体力医学会健康科学アドバイザー®の新規申請者4名の氏名リストが提示され、承認された。

4. ICSEMIS日本開催について（鈴木理事長）

資料に基づき、日本スポーツ体育健康科学学術連合・日本学術会議健康・スポーツ科学分科会合同ICSEMIS（International Convention on Science, Education and Medicine in Sports）の日本開催について、開催に賛同するか、賛同する場合は組織運営委員会委員に誰を派遣するのか求められていると報告があり、審議の結果、ICSEMIS日本開催に賛同することとし、組織運営委員会委員には須田和裕理事に就任していただく事が承認された。

5. 編集事務局からの審議事項について

（田中編集委員長）

資料に基づき、編集事務局からの審議事項について以下のように報告された。

- 1) 一般社団法人学術著作権協会への著作物複製利用に係る権利委託契約について
『体力科学』、『JPFISM』の複製に関する許諾管理を学術著作権協会に委託契約する事が提案され、審議の結果、承認された。
- 2) JPFISM掲載基準に関する周知活動を年次学会大会と地方会で実施することについて
JPFISMへの投稿を促すこと、査読者への査読基準の周知を促すために、JPFISMの掲載基準に関する講演を学会大会や地方会などでも講演していきたいと提案があり、審議の結果、講演の際の旅費補助は編集委員会の予算内で負担する事とし、周知活動することが承認された。

【報告事項】

1. 各種委員会報告

1) 編集委員会（田中委員長）

資料に基づき、以下の内容が報告された。

- ① 9月17日に投稿規定を改訂し、「体力科学」、「JPFISM」の掲載料を値上げしたこと。
- ② 9月28日にJPFISMオリジナルWebsiteの運用開始したこと。
- ③ 11月25日にJ-STAGE公開画面の「新画面インターフェース切替」が行われる予定であること。
- ④ 今期の編集委員会メンバーは新任の委員5名、退任した委員1名であること。
- ⑤ 「体力科学」誌、「JPFISM」誌の投稿状況について。
- ⑥ 「体力科学」誌66巻6号、「JPFISM」誌6巻6号の発行日について。

2) 学術刊行物小委員会（田中委員長）

本学会による学術刊行物の「PART1 内科系疾患と運動」の構成案と作成状況について報告された。理事宛に著者とセクションエディターについて推薦して頂きたいと提案がされ、審議の結果、12月中に著者とセクションエディターを取り決めて、進めて

いく事が承認された。

3) 渉外委員会（永富委員長）

ECSS Young Investigator Award 受賞者を招く国際セッションについて、2019年にシンポジウムの講演を担当する先生について、神奈川大学の北岡 祐会員が提案したテーマでECSSに応募したと報告があった。

4) FAOPS2019運営委員会（和気委員長）

FAOPS2019より、12月1日にはシンポジストのリストアップをしなければならない状況が報告され、シンポジストの人選に関しては、運営委員会に一任してほしいと提案があり、承認された。

2. 第72回（愛媛）大会の報告（浅井第72回副大会長）

配布資料に基づき、以下の事項について報告がなされた。

参加総人数：1,922名
口演発表数：329題
ポスター発表：529題
その他：85件
総合計演題数：943演題

収支差額は287,163円の黒字決算であり、大会余剰金は本部事務局に返金されることが報告された。また、中国・四国地方会が大会中に販売したポロシャツの収益金に関しては、税金を差し引いた額を中国・四国地方会事務局に返金することとした。

3. 第73回（福井）大会の進捗状況（鈴木理事長）

配布資料に基づき、大会の準備状況について報告された。

会場：AOSSA, ハピリン
会期：2018年9月7日(金)～9日(日)
テーマ：しあわせ元気な福井でつむぐ体力医学
～QOL維持・向上の運動効果～

4. 第74回（茨城）大会の進捗状況（田中第74回大会長）

大会の準備状況等について報告された。

会場：つくば国際会議場
会期：2019年9月19日(木)～21日(土)

日本体力医学会北海道地方会第20回大会のご案内

日時：平成30年4月21日(土)

会場：北海道大学医学部臨床大講堂

(〒060-0808 北海道札幌市北区北14条西5丁目)

プログラム（予定）

13:00～	受付
13:20	開会
13:30～14:20	特別講演
14:30～15:30	一般演題発表
15:40～16:15	ショートプレゼンテーション
16:20～16:40	総会
16:40	閉会

参加申込

学会大会に参加される方は、当日の会場受付にて、参加費（1,000円）をお支払いください。事前の手続きはございません。

特別講演

題目：Exercise in Cold, Live in Mild Cold

演者：若林 斉 先生（北海道大学大学院工学研究院）

懇親会のご案内

懇親会につきましては、当日の受付にてご案内させていただきます。

大会事務局

〒060-0811 北海道札幌市北区北11条西7丁目
北海道大学大学院教育学研究院健康体育学分野
会長 水野眞佐夫
事務局長：柚木孝敬
E-mail：yunoki@edu.hokudai.ac.jp

第81回日本体力医学会中国・四国地方会のご案内

期 日：平成30年6月9日(土)、10日(日)

会 場：就実大学・就実短期大学S101
(岡山市中区西川原1-6-1)

○プログラム

・演題数により多少変更になる場合があります。

1 日目：平成30年6月9日(土)

13：00～13：30 幹事会

12：50～13：30 受付

13：30～13：40 挨拶

13：45～15：45 研究発表(1)

15：45～16：00 コーヒーブレイク

16：00～17：30 特別講演

「教育現場・運動指導現場でやっていいことダメなことー著作権・肖像権の問題に着目してー」(仮)
講師：中西裕先生(就実大学教授)

19：00～21：00 情報交換会(岡山駅周辺を予定)

2 日目：平成30年6月10日(日)

9：00～9：30 受付

9：30～12：00 研究発表(2)

12：00～12：30 総会

○学会参加, 情報交換会参加の申し込み

学会および情報交換会の参加申し込みは5月18日(金)までにFaxまたはE-mailをお願いします(必着)。

Faxの場合は, 別紙申し込み票をご利用頂き, E-mailの場合も同様の内容をお知らせください。

○学会参加費

会 員：1,000円

非 会 員：2,000円

学生・院生：無料

○健康運動指導士及び健康運動実践指導者の方へ

本学会は, 健康運動指導士及び健康運動実践指導者の登録更新に必要な履修単位として申請予定です。

○情報交換会

情報交換会費：5,000円(学生・院生：3,000円)

*会費の支払いは, 学会当日受付にてお願いします。

*会場は岡山駅周辺を予定しています。

*学会会場から岡山駅までは, JRで1駅(3分程度), お車で10分程度です。

○演題申し込みおよび予稿集原稿

1. 演題の申し込みはFaxもしくはE-mailで5月18日(金)【必着】までをお願いします。

まず, 申し込みの際には, 以下の4項目についてお知らせください。

1. 発表者, 2. 所属,
3. 連絡先(Tel, Fax, E-mail), 4. 演題名
5. 幹事の方は, 幹事会出席の可否

(Faxの場合は別紙申し込み票をご利用ください)

2. 予稿集の原稿を6月1日(金)までに郵送またはE-mail(ワード添付書類)でご提出ください(必着)。
原稿はA4用紙2枚に上下左右の余白を2cm取り, タイトルは18ポイント, 所属・氏名・本文は12ポイントで作成してください。発表者が複数の場合は, 演者の前に○印を付けてください。添付された

Word書類はこちらで印刷し, 郵送原稿はそのまま複写します。図表も添付可能ですが, こちらで若干の修正を加えさせて頂く場合がありますのでご了承ください。

○一般発表について

・発表時間は, 発表10分, 質疑応答4分の計14分とします(演題数によって変更有り)。

・発表は, パソコンの画面映写とします。プロジェクターはこちらで準備します。

・事務局側で準備するパソコンのOSおよびアプリケーションは以下の通りです。OS: Windows 7, アプリケーション: Power Point 2010 (Macintosh本体の用意はいたしません)

・ご自身のパソコンを持ち込まれて発表されても構いませんが, ケーブル接続等の作業につきましては発表者ご自身でお願いします。(※HDMI端子あり)

・Macintoshご利用の場合は, プロジェクターとの接続に変換ケーブルが必要です(変換ケーブルの種類は機種によって異なります)。ケーブルは発表者が必ずご持参ください。

○会場案内

就実大学・就実短期大学

岡山市中区西川原1-6-1 tel: 086-271-8111

ホームページ(<http://www.shujitsu.ac.jp/>)参照

JRをご利用の場合

*JR山陽本線・赤穂線「西川原・就実駅」から会場(S館)まで徒歩5分程度です。

*「西川原駅」は通称です。

お車をご利用の場合

*図書館北の駐車スペースをご利用下さい。

*駐車スペースは限りがございますので, JRをご利用頂くか, 乗り合わせでのご来場にご協力をお願いいたします。

○情報交換会会場

岡山駅周辺で計画中

*学会1日目終了後に情報交換会会場に移動される時間を考慮し, 情報交換会開始時刻を設定しております。

○宿泊施設

*会場の最寄りのホテルは, 「プラザホテル岡山」です(徒歩約15分)。

*会場から徒歩5分で, 山陽本線・赤穂線「西川原・就実駅」があり, 岡山駅間3分で行き来ができます。情報交換会は, 岡山駅周辺で計画していますので, 岡山駅周辺の宿泊手配をおすすめします。

*詳しくはインターネット等でお調べいただき, 各自で手配をお願いします。

○問い合わせ等

〒703-8516 岡山市中区西川原1-6-1

就実大学教育学部初等教育学科 飯田智行 宛

TEL: 086-271-8148 (直通)

FAX: 086-271-8122

E-mail: t.iida@shujitsu.ac.jp

第29回日本体力医学会スポーツ医学研修会のご案内（第3報）

日本体力医学会学術委員会主催の本研修会は基礎コースと応用コースに分かれ、それぞれ2日間、講義と実習を行います。実習は救急救命法、健常者や生活習慣病罹患者に対する運動処方、傷害予防・機能回復の筋カトレーニングおよびテーピングなどです。アスリートを対象とした研修内容ではありませんのでご注意ください。

全てのコースを受講して修了試験に合格し、所定の手続きをとると「日本体力医学会健康科学アドバイザー®」の称号を受けることができます。

称号取得を希望される方は、日本体力医学会に入会し、会員になっていただく必要があります。

この研修会には日本体力医学会非会員の方も参加できます。また、他の研修会を受講し、資格や称号を取得された方で、それらの更新に必要な認定単位取得のために本研修会を受講されても結構です。受講証明書を発行いたします。

尚、実習を行う関係上、各年度の参加人数に制限がありますことをご了承下さい。

平成29年11月10日

日本体力医学会学術委員会・スポーツ医学研修会委員会

中里浩一 岡本孝信 須永美歌子 進藤大典 太田 眞 蕪木智子 清水智美 宇高 潤

1. 会 場

日本体育大学東京世田谷キャンパス、各教室および中央測定室など

2. 日時および研修内容

(I) 基礎コース

運動生理学やスポーツ医学等の基礎的事項を前提に、さらに進んだ生理学（神経・筋、呼吸、循環、代謝など）や栄養学および運動処方の基礎などを中心に学びます。

2018年(平成30年)6月30日(土)

9：00～10：40 オリエンテーション、有疾患者に対する運動療法の考え方（含COPD, 腎症）
 10：40～10：50 休憩
 10：50～11：50 高次脳機能と運動 – 認知症予防のための運動など–
 11：50～12：50 筋骨格系組織と運動 – 寝たきり予防のための運動など–
 12：50～13：50 昼食・休憩
 13：50～14：50 循環と運動
 14：50～15：50 幼児期および成長期における運動指導について
 15：50～16：00 休憩
 16：00～17：00 運動、栄養、生活習慣病予防について
 懇親会（会費3000円, 参加自由）

2018年(平成30年)7月1日(日)

9：00～10：30 運動処方の基礎
 10：30～10：40 休憩
 10：40～12：10 運動器疾患に対する運動療法
 12：10～13：10 休憩
 13：10～14：40 心血管系疾患の運動処方および服薬者の運動時注意点
 14：40～14：50 休憩
 14：50～16：20 メタボリックシンドロームに対する運動療法

(II) 応用コース

基本的な運動指導の実際について学びます。実習では自転車エルゴメータによる運動負荷試験をもとに運動処方を作成します。また、呼吸機能検査、体組成測定法、テーピングや筋カトレニング実習も行います。

2018年(平成30年)8月3日(金)

- 9:00~12:00 運動処方実習(a)(トレッドミルおよび自転車エルゴメータを利用した運動負荷試験, 心電図記録, 呼吸機能検査, 乳酸測定など)
- 12:00~13:00 昼食・休憩
- 13:00~17:00 運動処方実習(b), 尿検査, 体組成測定, 筋力/筋パワー測定など

2018年(平成30年)8月4日(土)

- 9:00~12:00 運動処方の実際(前日の運動負荷試験で得られたデータを基に各被験者の運動処方を作成し, 実施する)
- 12:00~13:00 昼食・休憩
- 13:00~17:00 スポーツ傷害予防実習(テーピング, 筋力/筋パワートレーニング, 救命救急実習)

3. 修了試験と称号について

基礎コースおよび応用コースの両コースを受講した方は、所定の修了試験を受験することができます。修了試験は2018年(平成30年)8月5日(日)10:00~12:00に日本体育大学東京世田谷キャンパスで行います。修了試験の合格者には合格証を発行いたします。また、修了試験合格後、所定の手続きを経て、日本体力医学会健康科学アドバイザー®の称号を取得することができます。

※「日本体力医学会健康科学アドバイザー認定試験過去問集(正解/解説付)」(税込:2,000円)がありますので、是非ご利用下さい。下記の「9. 申込書送付先および問い合わせ先」へお申込み下さい。

4. テキスト

担当講師が用意した講義資料をテキスト化しそれに準じて講義が行われます。また、プレゼンテーション資料も必要に応じて当日配布致します。

5. 受講料

受講料は(I)基礎コース、(II)応用コースおよび修了試験の全てを受講する場合は50,000円、単科コース(基礎コース、応用コースの各コースを単独受講)を受講する場合はそれぞれ25,000円(2日間コース)です。2コースの受講を原則としますが、定員に余裕があれば、単科コースの受講も可能です。その年度に受講しなかったコースを次年度以降に受講すれば、全コース受講後修了試験を受験することができます。尚、学生受講者は30,000円(基礎・応用コース)と致します。ただし学生証の呈示が必要です。

6. 受講資格と定員

スポーツ医学研修会受講資格は特に定めませんが、2コース受講後に行われる修了試験に合格し「日本体力医学会健康科学アドバイザー®」の称号取得申請を希望する方は日本体力医学会会員でなければなりません。但し、自己研鑽のために本研修会を受講される方や他団体の資格や称号の登録更新のための認定単位取得が目的の場合は日本体力医学会会員になる必要はありません。

定員は各コース40名です。

7. その他

健康運動指導士、健康運動実践指導者の登録更新に必要な履修単位(60分1単位)について、基礎コースでは講義11.5単位、応用コースでは講義0.3単位および実習12.7単位がそれぞれ認定される予定です(2018年4月申請予定)。ま

た、THP（トータル・ヘルスプロモーション・プラン）のレベルアップ研修における基礎コース5単位、応用コース5単位が認定される予定です（現在認可申請中）。

8. 申し込み方法

本研修会受講希望者は、葉書またはFAXで、日本体力医学会スポーツ医学研修会を受講したい旨を下記までご連絡下さい。仮申込受付後、申込書類をお送りいたしますので、要領に従いお申込下さい。なお、申込に際し、受講料をご案内の口座に2週間以内にお振込み下さい。お振込みをもって正式な申し込みとさせていただきます。定員に達し次第、締め切らせていただきますのでご了承下さい。受講票、受講料などの連絡は、受講通知とともに後日ご案内させていただきます。

なお、申し込みが20名に満たない場合には中止させていただきますのでご了承下さい。その時には受講料を払い戻しますが、本人都合による返金には応じられませんので、あらかじめご了承下さい。

※本学会ホームページの“お知らせ”にある、「スポーツ医学研修会」および「日本体力医学会健康科学アドバイザー®」を確認し、手続きの参考にしてください。

9. 申込書送付先および問い合わせ先

〒112-0012 東京都文京区大塚5-3-13ユニゾ小石川アーバンビル4F
 一般社団法人学会支援機構内
 日本体力医学会スポーツ医学研修会 係
 電話: 03-5981-6015 FAX: 03-5981-6012
 E-mail: jspfsm@asas-mail.jp

第29回日本体力医学会スポーツ医学研修会仮申込書

下記の通り、研修会の受講を申し込みます。（該当する□にレ印をつけて下さい。）

第29回 基礎コース

第29回 応用コース

試 験

氏 名 _____

連絡先 〒 _____

TEL: _____ E-Mail: _____

第39回バイオメカニズム学術講演会 (SOBIM2018 in Tsukuba)

～トップアスリートの突き抜けた世界～

－ 開催案内 －

主催：バイオメカニズム学会

会期：2018年11月10日(土) 11日(日)

会場：筑波大学・筑波キャンパス5C棟
(茨城県つくば市天王台1-1-1)

●講演会内容 (予定)

- ・一般講演
- ・シンポジウム
- ・ランチョンセミナー
- ・機器展示

●一般演題発表募集

講演申込締切 2018年7月2日(月)

原稿投稿締切 2018年10月1日(月)

●事前参加登録締切 2018年10月1日(月)

●会場までの交通機関

最寄り駅：つくばエクスプレス「つくば駅」

つくば駅から筑波大学循環バス右回り「筑波大学西」、
左回り「合宿所」で下車 (ともに約10分) 下車後、徒
歩約5分で5C棟へ

●第39回バイオメカニズム学術講演会運営事務局

〒305-8574 茨城県つくば市天王台1-1-1

筑波大学体育系 小野誠司研究室

E-mail : sobim-2018@ml.cc.tsukuba.ac.jp

学術講演会 WEB : 4月上旬開設予定

●協賛団体 (予定)

計測自動制御学会, システム制御情報学会, 情報処理
学会, 人工知能学会, 人体科学会, 精密工学会, 電気
学会, 電子情報通信学会, 日本運動生理学会, 日本看
護科学学会, 日本看護技術学会, 日本看護研究学会,
日本機械学会, 日本義肢装具学会, 日本義肢装具士協
会, 日本建築学会, 日本作業療法士協会, 日本シミュ
レーション学会, 日本写真測量学会, 日本人工臓器学

会, 日本人類学会, 日本生活支援工学会, 日本整形外
科学会, 日本生体医工学会, 日本生理学会, 日本体育
学会, 日本体力医学会, 日本人間工学会, 日本バイオ
マテリアル学会, 日本バイオメカニクス学会, 日本福
祉のまちづくり学会, 日本補綴歯科学会, 日本理学療
法士協会, 日本リハビリテーション医学会, 日本リハ
ビリテーション看護学会, 日本リハビリテーション工
学協会, 日本臨床スポーツ医学会, 日本臨床神経生理
学会, 日本臨床バイオメカニクス学会, 日本ロボット
学会, 日本ロボット工業会, ヒューマンインタフェー
ス学会, ライフサポート学会, 臨床歩行分析研究会,
IEEE EMBS Japan Chapter, IEEE EMBS West Ja-
pan Chapter

●実行委員会 (予定)

実行委員長：藤井 範久 (筑波大学体育系教授)

事務局長：小野 誠司 (筑波大学体育系准教授)

プログラム委員長：

小池 関也 (筑波大学体育系准教授)

実行委員：足立 和隆 (筑波大学体育系准教授)

榎本 靖士 (筑波大学体育系准教授)

大山 圭悟 (筑波大学体育系准教授)

小林 真 (筑波技術大学准教授)

佐久間 亨 (筑波技術大学助教)

保原 浩明 (産業技術総合研究所)

木下まどか (東京大学大学院総合文化研
究科助教)

2019年度学術講演会委員：

平崎 鋭矢 (京都大学霊長類研究所, 第
40回学術講演会担当)

常任理事・事業担当：

木塚 朝博 (筑波大学体育系教授)

編 集 後 記

第67巻第2号をお送りいたします。本号には、「がん
と運動習慣」に関する特集が組まれています。詳しい内
容は本文をご覧くださいと思いますが、がんの予防、
検診さらにはがん患者・サバイバーのケアに至るまで、
大変幅広く充実した内容となっています。習慣的な運動
には、がんに対する予防効果や進行抑制効果があること
が徐々に明らかになっています。Cell Metabolism 誌の本
年最初の号にも、運動ががんに及ぼす効果に関する総説
が掲載されるなど、世界的にも注目を集めている分野で
す。今後、がんに対する運動の効果がさらに明らかとな
り、効果的な予防・治療法の開発につながることで、また
がんサバイバーのQOLが向上することを願っています。

この編集後記を書いている今、韓国の平昌では冬季オ
リンピック・パラリンピックが開催されています。昨晚
は、4年前にオリンピックへの出場やメダルを逃し、悔
しい思いをした二人の女性アスリートが見事にメダルを
獲得しました。このようなオリンピック・パラリンピッ
クでよりよいパフォーマンスを発揮するためには、選手
自身の努力だけではなく、周囲のサポートが必要である
ことは言うまでもありません。私たち研究者には、地道
にデータをだし、報告することが求められます。当然の

ことながら、日本人アスリートのパフォーマンスを向上
させるためには日本人のデータが必要であり、その発表・
報告の場として、この体力科学誌をご活用いただければ
と思っています。

平昌オリンピック・パラリンピックが終了すれば、い
よいよ2年後の2020年には、東京でオリンピック・パラ
リンピックが開催されます。2020年に向けて徐々に盛り
上がりつつありますが、2020年以降もこの盛り上がり
を維持しつづけるためには、体力科学・スポーツ科学に関
する国内最大の学会である日本体力医学会が果たす役割
は非常に大きいものと思われれます。学会の発展には、学
会大会へ多くの先生方に参加していただくだけではなく、
学会誌を充実させることも欠かせません。日本人ア
スリートのパフォーマンス向上や日本人の健康の維持・
増進のためのデータを体力科学誌およびJPFISM誌にご
投稿いただき、日本体力医学会を2020年、さらにはそれ
以降にむけて盛り上げていただきたく、お願い申し上げ
ます。

寺田 新

The Japanese Journal of Physical Fitness and Sports Medicine Vol.67, No.2

体 力 科 学 第 67 巻 第 2 号

平成30年3月25日 印 刷

平成30年4月1日 発 行

編集兼発行者
発 行 所

田 中 喜 代 次
一般社団法人日本体力医学会
〒112-0012 東京都文京区大塚5-3-13
ユニゾ小石川アーバンビル4階 学会支援機構内
TEL: 03-5981-6015 FAX: 03-5981-6012
E-mail: jspfsm@asas-mail.jp

編 集 事 務 局

〒997-0854 山形県鶴岡市大淀川字洞合1-1
鶴岡印刷株式会社内
TEL: 0235-22-3120 FAX: 0235-22-3120
E-mail: hj-tairyoku@turuin.co.jp

印 刷 所

〒997-0854 山形県鶴岡市大淀川字洞合1-1
鶴岡印刷株式会社